

都、IOC、組織委員会、国による四者協議(その2)について

1 開催概要

- 開催日 平成28年12月21日(水)
- 出席者
 - ・ 小池 百合子 東京都知事
 - ・ ジョン・コーツ IOC副会長
第32回オリンピック競技大会(2020/東京)調整委員会委員長
 - ・ 森 喜 朗 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長
 - ・ 丸 川 珠 代 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣 ほか

2 会場見直しについて

- バレーボール・車椅子バスケットボール会場は、有明アリーナを整備することで、四者が合意
- 有明アリーナの整備について、都から説明
 - ・ 施設運営に民間の創意工夫を最大限に生かすため、コンセッション方式の導入を検討
 - ・ 環境性能の確保など、将来のために必要な投資は、さらに検討
 - ・ 周辺を「有明レガシーエリア」とし、面として価値を向上

3 大会予算について

- 組織委員会予算と大会全体経費について、組織委員会から説明
 - ・ 組織委員会予算は5,000億円で収支均衡
 - ・ 大会全体経費は、組織委員会予算を含め、1兆6,000億円～1兆8,000億円
- ➡ 引き続きコスト削減に努める。
予算管理のガバナンスを強化していく。
役割分担の協議は、都、国、組織委員会の三者で進めていく。